

Charlotte Translate EP01 (Parte02)

- 1- (タカジョウ) なるほど。こういう展開になるまで読んでいたと
- 2- なら ここからは私の役目。
- 3- (オトサカ) 走って！すぐに！くそ～！
- 4- (タカジョウ) 大丈夫ですか。
- 5- (ユミ) ええ 大丈夫です。
- 6- (オトサカ) 何だ！一体何が起こってるんだ。
- 7- お前、一体何をした？
- 8- (タカジョウ) 瞬間 移動です。
- 9- (オトサカ) 瞬間 移動？
- 10- (タカジョウ) はい。字のごとく 一瞬で移動する能力ですが
- 11- 都合よくぴたり止まりません。
- 12- この能力のおかげで 何度病院 送りになったことか。
- 13- (オトサカ) 《なんて不完全な能力だ。》
- 14- そんなことより これから僕をどうするつもりだ。
- 15- (トモリ) 我々の学校に転入してもらいます。
- 16- (オトサカ) 転入？
- 17- (トモリ) はい。この世にはあなた以外にもたくさんの能力者が存在しています。

18- でも その特殊能力は思春期の病のようなもので やがて消えます。

19- それが消えるまであたしたちの学校 星ノ海 学園に通い続けてください。

20- すでに親権を持つ方には承諾をもらっています。

21- （おとさ） そんな話が・・・

22- （トモリ） あるんです。

23- しかし ルックスだけでモテそうなのに

24- カンニングしまくって秀才まで演じる必要があったのでしょうか。

25- 甚だ疑問ですなあ。

26- おかげでお目当ての女生徒とお近づきになれたか。

27- （オトサカ） 貴様～～！

28- 何だ 消えた？

29- （タカジョウ） それは彼女の能力です。

30- （オトサカ） まさか、透明 人間になれる能力？

31- （タカジョウ） いえ。私には彼女があなたを殴っただけにしか見えませんでした。

32- （オトサカ） そんな 僕だけが見えてなかった。

33- （タカジョウ） そう。彼女の能力は一人の対象者から視認されない。

34- それ以外の人間には普通に視認できます。

35- (オトサカ) 《また不完全な能力だ。》

36- (トモリ) ちなみに あなたには私たちの生徒会に入ってもらいます。

37- あなたの能力は使えるので協力してください。

38- (オトサカ) 何に？

39- (トモリ) あなたのように力を悪用している奴らを脅すためにです。

40- 私たちは そういう存在なのです。

41- (オトサカ) ただいま。

42- (アユ) お帰りなさいませ ユウお兄ちゃん。

43- どうしたの その顔？

44- (オトサカ) あ・・・いや。その体育の時間にちょっとな。

45- (アユ) そうそう おじさんからすごい電話をもらったのです。

46- アユとユウお兄ちゃんは 星ノ海 学園の高等部と中等部に特待生として転入するって聞きました。

47- 本当なのでしょうか。

48- (オトサカ) 《マジかよ。》

49- まあ 本当だ。

50- (アユ) 家計が助かります。

51- しかも おじさんからお祝いにおいしいものが届くそうです。

- 52- (オトサカ) けど お前まで転校だぞ。
- 53- 友達と別れるけどいいのか？
- 54- (アユ) 今はスマホで顔を見ながらおしゃべりできるので
- 55- そこまで寂しくないのごさる。
- 56- (オトサカ) そっか。
- 57- (アユ) 今日の夕食は・・・じゃん！！
- 58- ユウお兄ちゃんの大好きなオムライスです。
- 59- (オトサカ) 《またか。》
- 60- 《それは子供の頃の話だと何度も言ってるのに》
- 61- (アユ) おめでとう！では いただきます～～！
- 62- (オトサカ) 《あまっ、このピザソースを隠し味に使うのが》
- 63- 《子供の頃の舌に合っていたんだろなあ。》
- 64- (アユ) どう？おいしい？
- 65- (オトサカ) ああ おいしいよ。
- 66- (アユ) 本当お母さんもオムライス久々に食べたいな。
- 67- (オトサカ) お母さんか。そんな人のことはどうでもいいだろ。
- 68- (アユ) まだ怒ってるの？
- 69- (オトサカ) そりゃ当然さ。
- 70- 離婚して親権をおじさんに勝手に押し付けたんだから。

71- (アユ) アユにはよく分かりませんが、許してあげてほしいのです。

72- (オトサカ) 僕たちに両親はいない。

73- 家族は僕とお前の二人だけだ。

74- (アユ) そっか～

75- でもね アユ時々 思うんだ。もう一人家族がいたような気がするのです。

76- (オトサカ) 兄弟は僕とお前だけだ。

77- 夢でも出てくるのか。

78- (アユ) そうだよね。

79- 本当でもあるような不思議な気分なのです。

80- (オトサカ) 《完全な夢だよ。》

81- おい！明日は引っ越しで早いんだぞ。

82- そろそろ寝ろよ。

83- (アユ) もう少し ^{わたくし} 私 めにお時間を

84- (オトサカ)ほんと 星が好きなんだなあ
お前。

85- (アユ) だって 人が行けない遥か彼方まで見えるんだよ。

86- それはすごいことだと思うアユなのです。

87- (おとさ) お前 学校でも星の話ばかりしてるとはぶられるぞ。

88- (アユ) どうしてでしょうか。

89- (オトサカ) 経験則。僕の人生において星の話じゃなく

90- ^{ゆう}夕べのテレビの話で盛り上がるのが定石。

91- (アユ) ケイケンソク? ジョーセキ?

92- (オトサカ) 分からなければいい。そろそろ寝ろ。

93- (アユ) 了解でござる!!

94- すごい広い部屋なのです。

95- 本当にアユとユウお兄ちゃんの二人で使っていいんでしょうか。

96- お疲れ様でござる。

97- 不肖 ^{わたくし} 私 めにも お手伝いを

98- (オトサカ) おい。業者さんがやってくれるからいいんだよ。

99- (アユ) 少しでも力になれると思ひましてなのですが

100- (オトサカ) 仕事を奪ってあげるな。

101- (アユ) そういう発想はアユにはありませんでした。

102- (ユミ) あの時 何があったのですか。

103- (オトサカ) それは言えなくて

104- えと 実は星ノ海 学園に転入することになって

105- あ・・その 色々あってさ。ごめん。

106- (オトサカ) 《僕はこの能力がきえるまで監視のない場所への移動は許されない。》

107- 白柳さんから会いに来てくれたら嬉しいな。

108- (ユミ) だって あまりに遠すぎます。

109- せめて週に一回 代わり番こでとか。

110- (オトサカ) えお それでもごめん。僕からはここに来れない。

111- (ユミ) どうして？

112- (オトサカ) どうしてと言われても

113- 《この件に関しては他言 無用を強いられている。》

114- 僕にはどうしようもなくて？

115- (ユミ) あなたには感謝しています。

116- その気持ちは揺るぎません。

117- でも、あなたとはまだ交際していません。

118- だから 去るあなたを一方向的に追いかけるなんて

118- まるでストーカーのようじゃないですか。

119- (おとさか) もちろん それは悪いと思ってる。

120- でも 僕からは会いに行けないんだ。

121- (ユミ) 分かりました。これからは それぞれの道を進んでいきましょう。

122- (オトサカ) それって

123- (ユミ) 私はあなたを命の恩人として

124- その思いはいつまでも忘れずに過ごしていきます。

125- それだけです。

126- （オトサカ） そんな！

127- （ユミ） 助けてもらい。ありがとうございます。
す。

128- 本当に感謝しています。

129- でも、ここであなたとは さよならです。ど
うかお元気で。

130- （オトサカ） この僕が・・・振られた？

131- （トモリ） こんにちはあ！お邪魔しまあす！
というかしてまあす！

132- （おとさか） いきなりなんだよ。

133- （トモリ） 二人だと大変でしょ。お手伝いに
来ました。

134- 皆さん！ユウお兄ちゃんと一緒の学校の方で
しょうか。

135- （タカジョウ） はい。生徒会の者です。私は
たかじょう 高城、ともり こちらは友利さん。

136- 放課後になってので、お手伝いしようと寄っ
てみました。

137- （オトサカ） 余計なお世話だ！

138- （トモリ） 手伝わせてもらえますか。

139- （アユ） もちろん助かるのです～。

140- （オトサカ） なんて狡猾な

141- （トモリ） では 手分けしていきましょう。

142- （アユ） お願いしまあす。

- 143- （おとさか）これが歩未^{あゆみ}が言っていた。
- 144- おじさんからのお祝いの美味しいものか。
- 145- 全部金^{きん}さんラーメンかよ！！
- 146- 見なかったことにしよう。
- 147- （トモリ）歩未^{あゆみ}ちゃん。手品 見せてあげよ
っか。
- 148- （アユ）それは見たいのです〜。
- 149- （トモリ）そこにいてね。一瞬の出来事だから。
- 150- （アユ）すごいです。テレビに出ている人
よりすごいです〜。
- 151- （トモリ）喜んでもらえた？
- 152- （オトサカ）《能力を遊びに使うな！》
- 153- 《歩未^{あゆみ}の度肝を抜きすぎだろ！》
- 154- 遊ぶんだったら帰らせるぞ。
- 155- （トモリ）はいはいと
- 156- お兄さんは怖いね。
- 157- （アユ）手伝ってもらってるのにね。
- 158- （タカジョウ）では 我々はこれでしつれい
します。
- 159- （アユ）帰っちゃうの？ 晩ご飯 作るから
食べていってほしいのです。
- 160- （おとさか）四人分の食器がない。
- 161- （トモリ）ということらしいので。

162- 大丈夫。また会えますから。

163- (アユ) How-Low-Hello

164- (オトサカ) やっぱり流行ってるのか。

165- (アユ) そうだよ～！西森 ゆさ！ゆさりん！

166- 可愛いでござる。

167- (おとさか) こんなのが売れるなんて 世も末だな。

168- (アユ) アユの新しい学校 ユウお兄ちゃんの学校のお隣だから。

169- 一緒に行きたいのです。

170- (オトサカ) シスコンに思われるだろ。

171- (アユ) シスコン？何かのコンテスト？

172- (オトサカ) 違う。

173- (アユ) にしても 星ノ海 学園なんて素敵な名前なのです～。

174- (おとさか) ああ まるでお前のためにつけてくれたような名前だな。

175- その晩 夢を見た。

176- ^{あゆみ} きっと歩未の突拍子もない発言のせいだろう。

177- あの人は誰だったんだろう。